

その子孫は殻を持つ相続人ではない

アメリカ合衆国インディアナ州ジェファーソンビル

19650年2月18日

1 祈りのために立ち続けましょう。さあ頭を垂れましょう。

愛する神様、今夜この機会にここにいることそして、生きているキリストを死にゆく世界と死にゆく世代にもたらすことを大いなる特権と見做しています。

主よ、私達の言葉と努力が無駄になる事がないように油を注いでください。それらの目的を満たすことが出来る様にです。

今夜ここにいるすべての男性、女性、少年または少女の必要を満たすのを助けてください。そして父よ、私たちはみな必要があります。そして、私たちが今夜ここを去るとき、我々の心が彼らがキリストの復活を目の当たりにした後のエマスから来た人たちの様に我々の心が感じられますように。彼らが言った様に「我々の内なる心は彼が話した言葉によっても得なかったか?」というようなものにしてください。主よ答えてください。

病人と苦しんでいる人を癒してください。今夜の礼拝の後、私たちの間に病気や問題がないように。そして何よりも、未信者が一人も残っていないように、主よ。彼ら全員が永遠の命を信じるように。それがここに集まる目的ですから。

これらの祝福は、神の子イエス・キリストの名の下に、神の御国の名誉となる様に願い祈ります。アーメン。(お座り下さい)

2 今夜ここに戻って来られて良かったです。そして、私たちは何人かが経っているの様ですね。そして、電話が現在、東のサンフランシスコ、ツーソン、全国のさまざまな都市に開通している様です。そして電話を通して挨拶を送ります。今夜この講堂にいます。そして、メインの講堂は満員になり、そして通路と壁のまわりで、人々がいっぱい立っています。そして明日の夜、ここでもう一方のジム側を広げて大きめの会堂にする予定です。多分2000人以上の人々になるでしょう。今夜つまり最初の夜にいっぱいになったので、それが明日の夜はもっと素晴らしくなると信じています。そして、彼らが予備の椅子を設置してまた全ての事を準備しているのが分かりました。

3 大きな期待を抱いています。まず主イエスの到来です。そして次は、今夜失われた魂が救いの為に彼(主イエス)を受け入れ、主が来られた時に、その準備が出来る様に。

特別な挨拶をしたいと思います、又、これらの演壇上にいる全ての素晴らしい男性達を歓迎します、彼らの多くが牧師であることを理解しています。200人以上がプラットフォーム上に座っています、そして確かに彼らがここにいることに感謝しています。

あなた方すべてに、国のさまざまな場所にいるとしても…海外の海の向こうから来た人たちがいることも理解しています。ですから、私たちとのフェロウシップを楽しむためにここにいらっしやっている事を感謝しています。この集いの間に、神様がお与えて下さることに期待しております。

4 この数日間の集会で、神がまさに起こして下さることを期待することで私の心がおかしな心配をしていました。何であるかはわかりませんが、罪と不信のこの暗い世を歩いている間に準備をし、神の国のより良い市民にすることが、神からの大きな啓示であるように願っています。

今夜この地で、まさにその場所で、素晴らしいことが行われています。彼らがこの学校の講堂をここに建設したことを知っていたので、この場所で礼拝をしたいと思っていました。学校の役員たちが喜んで我々に使わせ下さることのゆえに感謝しています。今夜このビルのどこかで、この場所で30年ほど前に、この今この建物が立っている場所で素晴らしいことが起こりました。それは当時は箒で履くような野原にすぎませんでした。そしてここから少し離れた裏の約200ヤードの場所にある小さな家に住んでいました。その時は私は父と母の救いについてとても心配していました。両方ともに今夜はもういません。そして特にその時代には、私は父について心配していました。

覚えています、ポーチで寝ていました。暖かい夏でした。これは私がイエス・キリストは昨日も今日もそしていつまでもという小さな本の中にかかっていると信じていますあるいは、私は天的な幻に従順であったという小さな本だったかもしれません。

5 そしてポーチの上に横たわっていて、突然目覚め、父のために私は重荷を感じていました。この街の多

くの人々が私の父を知っていたので、彼は偉大な人だったと思っています、彼は罪人ではありましたが、そして…しかし、彼は悪い習慣を持っていたので、私はその時代を通してできる限り一生懸命そのことに立ち向かおうとしました。それは飲酒です。その夜彼は飲んでいて、そして彼のことで大きな重荷を抱えていたために目が覚めました。そして、ただパジャマを着て、ズボンをはき、私のパジャマシャツを着たままで、私は今ここがどこなのかと、まさにこのほうきのフィールドを彷徨っていました。そして私はひざまずいて父の為に祈ったのです。

そして、祈っている間、彼を愛していたので、神に罪人を救って死なせないように頼んでいました。…そして私が祈っている間に、私はここから東を見上げるために立ち上がりました。幻がありました。そして私の真上に立っている人(多くの人はその幻をご存知です。)それはが主イエスでした。

6 今、私が知っているようにイリュージョンに対してアレルギーがあるわけではありませんが、幻は現実のものなのです。そして、そのような幻の中で初めて彼を見たのは、主イエスがそばに立っていたのです。彼はちょうど約、おおよそ頭の上10フィートで、片足だけで空中に立っていました。彼はその側面の周りにフリンジが付いている白い衣を着ていました。彼は自分の肩まで髪の毛を伸ばして、そして彼は聖書が言っているのと同じような約30歳の男性であるように見えたが、小さくて痩せた人で、とても小さく見えました。彼は130ポンドも無いように見えました。

そして私は見ました、そして私は、私が間違っているかもしれない何かがあると思いました…。それで私は私の目をこすって再び見上げました。そして彼はある種の横向きで、1種の彼の顔の輪郭のように立っていました。そして、私が幻の中でいつも見てきた彼の顔の外観は、30歳の時のホフマンのキリストの頭のようにでした。それが、私の家の中で、私の文書のどこでも載せている理由です。というのはその様にもっと見えたからでした。彼だけが小さく見えました。

7 彼を見上げていた時、「確かにそこに立っている主を見てはいない」と思いました。そして、この場所について、そしておそらくちょうどこの場所だと思われるのです…今説教壇のあるあたりだと言っているでしょう。どこかで、それはちょうど立っているこの場所の半径、この地区の周りのどこかの40または50ヤードの周辺で測れる最善の範囲内に会ったのです。

そして見上げ、そして彼はそこに立っておられました。そして、私が眠っていたかどうかを確認するために私の指を噛みました。どんな風になるかはわかりますよね…それはただあり得ないように思えたのです。そして、その時、まだ主にあって若かったので、私が説教し始めて約6ヶ月くらいだったでしょう。私は指を噛みました。私はほうきを取ってそれを壊しました。そして、その田舎に住んでいるあなた方の多くの人々は、その小さなつまようじのようなものがほうきの中にあることを知っています。私はそれを噛み始めました。そして、私は言いました、「それはありえません。夢を見ているのです。私の家があります。そこには父、母、そして子供たちがいます。かつてよくたっていた古い煉瓦造りの家の池があります。私はかつてこれを越えて約200ヤード先でよくアヒルを捕っていました。そしてここに、私は野原に立っています。そのはずなんです。」

8 私は地面を蹴り、少し足踏みをしました、そして首を横に振って手を鳴らしてまた上を見上げました。すると上を見て、又見ました。そうすると、そこに彼が立っていました。風が吹き始めました、そしてほうきの杖が揺れているのを見ました。そしてそれが吹き飛ばされ始めた時、彼の衣服がそれと一緒に揺れていました。洗濯に干されて並んでいる服のようにそれらはひっくり返り始めました。

彼はそこに立っていました。私はそれを見ていました。「彼の顔を見ることが出来れば」と考えていました。彼は東を見ていました。ちょうどこの方向で。彼は集中して見ていました。彼の顔をよく見るために歩き回って、それでもまだ彼をあまりよく見ることはできませんでした。彼の手が彼の前にあったから、かえって私が立っていた場所から隠れてしまいました。

私は再び動き回り、こんな感じで喉のつまりを治しました。彼の注意を引くことができるかどうかを確かめるために行きました[ブラナム兄弟がそのやり方を見せる]。しかし、彼は決して動きませんでした。

9 それから私は「たぶん彼を呼べば良い。」と思いました。私が「イエス様」と言った時、彼は頭を回してくれました。そして彼が私を見た時、彼はただ腕を上げました。これが覚えていることのすべてです…この場所で今この畑にある場所のどこかで、日の光の中に近かったのです。私のパジャマシャツは泣いていたのでその涙で濡れていました。そして私は疲れ果ててしまったのです。彼の顔は、芸術家が描くこともこともできないような性質がありました。彼らはそれはできないのです。彼は、あなたが彼を見る事が出来るならば、彼は人間の様に見えます彼の敬虔さと憐れみと尊重のゆえに泣きたいと思うでしょう、また彼がhかたることによ

って世界をひっくり返すに十分な力を持っている人の様にも見えました。そしてその性質を芸術家は描き得る事は出来ないのです。

そして私は今日までそれが何を意味するのか分かりませんでした。しかし、ここで私は30年後の今夜、全知全能の神への奉仕に今捧げられているこの講堂に立っているのです。そして私はただの働き人でした、実際このバプテスト教会のただの長老でした、当時、ロイ・デイビスがこの牧師でした。そして私はこの4日間主のメッセージをするために、イエス・キリストご自身がご自分で我々を贖う為に流された血について分け合うという理由の上に同じ場所に、今多くの大衆と共に立っているのです。

10 それからちょうど約6ヶ月後、スプリング通りでちょうどここにその光が降臨した時にここで私の最初の洗礼をしました。あなた方の多くは降りて行って川の正面で、スプリング通りと水を見ることを望むかもしれませんが、そして、ある日の午後2時に、主の御使が最初に公に現れた場所がそこにあります。それから声を聴きました、「バプテスマのヨハネがキリストの最初の到来を予告するために送られたように、あなたのメッセージは彼の再来の予告となるでしょう。」と言いました。

今、これがその30年後なのです、そして今夜も今もまだそのメッセージを宣言しています。そして、世界中にこのメッセージが伝えられています。また今夜私の故郷に戻って、全身全霊で今も愛してやまないこの主イエス・キリストを代表している事を嬉しく思っています。毎日、彼は前の日よりももっと甘くなっているのです。私の教義の中で1つの微小たりとも変えたことは一度もありません。私が最初に始めたこと、私は今夜同じことを今でも信じています。彼は昨日も今日もそしていつまでも変わる事がないのです。

さて、私には責任を負わされているメッセージがあります。

11 メッセージが最初に伝え始められたとき、それはもちろん皆が、それは、病気の人々の為に祈り、大きな印や不思議や奇跡がありました。それは特にペンテコステ派の人々から始まりました、世界を席卷した癒しの世界的なキャンペーンがでした。15年間しっかりとしたりバイバルが全ての丘の上であったと思います。リバイバルの火は燃えています。文字通り何百万という人々がキリストを彼らの救い主としてその1つの任務によって受け入れてきました。それはペンテコステ派教会がその時のようにその死んだような状態になっていた後、そこからオーラル・ロバーツなどに励まして続いて行ったのです。

今夜の私の意図と願望は、その教会を目の前にある主イエスの到来に再び目覚めさせることです。私はそれを叱責しなければなりません。あらゆる方法で罪を叱責しなければなりません。特定の宗派宗派に対していることを意味してはいません。私にはメッセージがあるのです。

12 さて、私たちの主イエスと同じように、支援のために教会に入るのは難しいです。それは主だからです。それは私ではありません。しかし、彼が最初に説教をし、病人を癒し、死者を蘇らせ、また、らい病人を清め、そして悪魔を追い出したので、誰もが彼を望みました。

それはまた、「人の子の肉を食べ、血を飲むことを除いて、あなた方が命を得る事はありません」と言ったときでもありました。

さてどうして、医者や知的な人々は「この男は人間の吸血鬼で、肉を食べ、血を飲ませようとしている。」と言ったでしょう。彼は説明を一切しませんでした。ただ告げたのでした。

そして、今夜あなた方は物事を聞くかもしれませんが又、そのミーティングを通してただ、言うだけで、私たちは説明することが出来ないかもしれません。しかしイエス・キリストは昨日も、今日もいつまでも変わる事がない事を覚えていてください。私たちはそれを信じています!

13 さて、ここでは始めるための規定の時間と出るための時間があるので、語りすぎるための時間はありません。そして、これらの時間を設定して下さった学校の役員会を尊重したいと思います。そしてそれらを尊重するために全力を尽くします。

覚えておいてください、罪人がキリストに來たいと望む時はいつでも、あなた方がしなければならないことは、私が説教しているか、歌っているか、それが何であるかにかかわらず、すぐに上に歩き、そしてその時にキリストに命を与え、席で立つことだけです。それが私たちがここにいる理由ですあなた方を助けるためです。

ヴェイル兄弟、ボーダーズ兄弟、そしてこの兄弟たちと話をしたいのです。彼らは午後、あるいはある朝に、あるいは何か、聖霊のバプテスマを受けようとしている人々のために、何か指導礼拝をすることが出

来ないかと思っていますがいかがでしょうか？兄弟達、ネヴィル兄弟、そしてあなた達全員がここにおられることができるでしょうか大丈夫ですか、カプス兄弟？

もし誰かが聖霊のバプテスマを受けるために指示を受けたいなら、あなたは会堂に行ってくださいませんか？(プラナム兄弟が時間について尋ねます)。朝の10時ごろで。

14 もし教義について質問がある場合、メッセージについて質問があるのなら、…あなたが個人的に奉仕されたことがないのなら、もし受けたいならば、祈ってもらいたいのか、あるいはそれらの付いて知りたいならば何でも、そこにいるので、午前10時にそこに来てこれらの人々にあってください。そこには一人かそれ以上、病気の人の為に祈る、個人的に質問に答えるために指示を出すために彼らが居ます。あなたは彼らに行き、彼らが出来る限りのあらゆる方法であなたをよろこんで助けてくれるでしょう。

さて、御言葉に入っていく直前に、御言葉の著者にアプローチしたいです。食べ過ぎるかもしれません。飲み過ぎるかもしれません。あなたは笑すぎるかもしれません。あなたは歩き過ぎるかもしれません。しかし、あなたは祈りすぎる事はありません。「私は人々が至る所で祈り、疑いも憤りもなく聖なる手を挙げるようになります。」では祈りましょう。

15 親愛なるイエス様、命の言葉の著者、あなたは御言葉でおられます。主イエス様、あなたは私にそれが真実であると記録されているという幻の説明の後、今個人的に強くあなたに向かっています。主イエス様、あなたが今夜、神の音の下にあるすべての耳の聴覚へ渡すために御言葉に油注ぎを下さる様に祈ります。そして、ここにいる誰かか、国の中を通して耳を傾けているななかで、この時代の挑戦を受ける準備ができておらず、用意していないならば、神からのメッセージは悔い改めて準備せよです。神の国が近づいているからです。私たちは、彼らが今夜、彼らがこの時間の挑戦に見合うようになることを祈ります。

ああ神様、責任とそれが何を意味するのか、そして何であるかを知っているので、助けを求めて祈ります。主よ、ここでも他の場所でも裁きの日全ての人に対しての質問の答えなければならないのです。私がする全てあるいはあなたの御言葉の中で言う事によって実を結ぶことが出来る様に途轍もなく誠実になるよう助けてください。あなたの任務がそうであったように、「この御言葉があなたの口から離れないようにしなさい。あなたは律法に書かれていることをすべてすることを守るべきであることを、昼夜問わずに黙想しなさい。それからあなたはあなたの道を繁栄させ、大成功を遂げるでしょう。私はあなたに命じませんでしたか？強く雄々しくあれと、主であるあなたの神はどこに行ってもともにおられるのです。」主イエス様、今夜、そのようになさってください。主イエスの御名によって祈ります。アーメン。

16 金曜日と土曜日の10時から12時までエイスとペン通りのその会堂において教義に対する答え、病人のための祈り、その他諸々のことが行われます。何か質問、必要があればそこにいらしてください。それを取り扱う男性達がいるはずで。主があなたを祝福しますように！

さて、今夜のこの開会の礼拝のために、私にできる事はメッセージにまっすぐに入っていくそれを開く以外はないのです。そのためにここにいるのです。そして今、そのために私は戻ってきたのです。そして日曜日の朝、主のご意志であれば、結婚と離婚についての、その日のその大きな挑戦を満たしたいと思っています。

17 さて、ガラテヤ人への手紙第4章27節から、私はこれらの御言葉を読みたいと思います、第4章27節から31節までです。

すなわち、こう書いてある、／「喜べ、不妊の女よ。声をあげて喜べ、産みの苦しみを知らない女よ。ひとり者となっている女は多くの子を産み、その数は、夫ある女の子らよりも多い」。

兄弟たちよ。あなたがたは、イサクのように、契約の子である。

しかし、その当時、肉によって生れた者が、霊によって生れた者を迫害したように、今でも同様である。

しかし、聖書はなんとやっているか。「女奴隷とその子とを追い出せ。女奴隷の子は、自由の女の子と共に相続をしてはならない」とある。

だから、兄弟たちよ。わたしたちは女奴隷の子ではなく、自由の女の子なのである。(ガラテヤ人への手紙 口語訳 [翻訳者])

18 主は御言葉を読むことに祝福を加えます。さて、私はここで私がこのような、非常に奇妙な、普通じゃない文章を使うことになると思います。しかし時々、私たちは神を奇妙で変わった時間、変わったやり方、変わったことに見いだします。なぜなら、神は変わっているのです、本当に心から主に仕える人々は、物や世のやり方に対して異なる方法で主に仕えているからです。この文章は、「その子孫は殻を持つ相続人ではない」というものです。

ここでパウロはアブラハムの二人の息子の文字通りの子孫について話しています。パウロは喜んで自由婦人による誕生という事を語っています。

19 さて、アブラハムには2人の息子が2人の異なる女性からいたことを知っています。神は、サラを通してサラに契約されました。むしろ、息子が生まれ、この息子を通して世界が祝福されることをです。すべての国はこの息子によって恵まれるであろう。そして、特にユダヤ人の間では、これがイサクであると一般に信じられています。しかしそうではありませんでした。この契約されたアブラハムの息子はイエスであり、彼はアブラハムの王家の契約の子孫なのです。

しかしアブラハムは2人の息子を持っていました。

20 ハガルから一人、つまりアブラハムが彼女のためにエジプトに迎え入れてくれた彼の妻のメイドでした、美しい、可愛い、エジプトのメイドでした。そしてサラは、神が彼の契約のすべてを忠実に守ることができないと考えて、アブラハムにハガルを彼女のメイドを連れて行き彼女と結婚し(当時は一夫多妻制が合法でした)、そして子供を産むようにと言いました。神がハガルを通してだけ子供を産むことになっていたことをそれが計画したならば、そうになっていたでしょう。しかしそうではない事を我々は知ることになります。

21 さて、私たちはまた、神は3つで完璧になさることを悟っています。さあ、神は3つで完璧にされています。神の恵みは5です。世界のように、7つが完璧なのです。神は父、子、聖霊で完璧にされます。それが神格の完璧さなのです。1つの神が3つの属性の3つの属性における1つのオフィスあるいは、1つの神格の中に3つのオフィス。

さて、教会の恵みのステップの完成には正当化、聖化、聖霊のバプテスマという3つもあります。それは生まれ変わりである新しい誕生から成ります。自然な誕生の形の様と同様なのです。女性が子供を産むときに最初に出てくるのは水、血、そして生命です。聖書はヨハネの福音書第5章7節、または第7章5節にこう書かれています、「天には記録がされているものが3つあります。父、御言葉、そして聖霊の3つです。地上で証しとなるものが、水、血、そして霊[水、血、そして霊]という3つがあり、これらの3つは1つと同じなのです。(ヨハネ第1の手紙第5章7-8節 聖書日本語訳は後半省かれているので直接翻訳[翻訳者])

22 さて、父、子、と聖霊は1つです。御子を持たずに天の父を持つことはできません。あなたは聖霊を持たずに御子を持つことはできませんが、聖別されることなく正当化されることが出来ます。あなたは聖霊に満たされることなく聖められることはできます。私たちは自然節理の中でそれを証明しました。

さて、多くは…私を不思議に思うかもしれません。そして私は教育を受けていません、そしてあなたはすでに理解していると確信しています。しかし、私は自然な種別を使って霊的な物の種別を教えます。

さて、完璧さには3つあることを見てきました。神は3つで完璧になっています。アブラハムの子孫の完成には、イシュマエル、イサク、イエスだったのです。イシュマエルは、女奴隷から来ました。イサクは自由な女性から生まれました。一どちらも成功から生まれましたがイエスキリストは処女から出たので性交はありませんでした。

23 ここにこの一人の子孫、1一人の、1つの種があります。複数の種ではなく、一人の子孫がいるのです。他のものは彼の信仰の種で生まれたものではない位からアブラハムの種(子孫)ではないのです。つまりそれは神がかたられているものだからです。彼の自然の子孫ではないのです、というのはサラが亡くなった後、アブラハムは他の女性と結婚し、娘のほかに7人の息子がいたのです。だからアブラハムの自然の種ではないのです、それはアブラハムの子孫でした

。つまりそれは、アブラハムの信仰による種であり、アブラハムの信仰によって生まれた王の子孫を指し示していました。アブラハムの肉的生活ではなく、アブラハムの霊的生活によるものです。神の御言葉に反したものをすべてを取りさり、そう呼び、希望をがないくても希望を持ち、信じられなくても神を信じました。それが、私たちが話している本当の子孫なのです。

24 我々にはある絵を通して示されています。元の約束に対するわずかに疑われる疑いで、種が始まり、約束の子孫が始まりました。元々の約束の中でどのようにしてそれが小さな疑いから始まるのかを見てください。神はサラを通してアブラハムにこの子を産むように約束されました。しかし気を付けてみてください。アブラハムの最初の子孫は、その女召使によって生まれます、それはサラが疑ったことによって起こったのです、というのは彼女は年を取っていてももう子供を産む年齢を超えていたから疑っていたのでした。

さて、その教会もその様に始まります。それが常に物事が始まる方法です。あなたは下から始めます。あなたは上からは始めません。はしごを登ろうとしている男が最初に上に乗ろうとすれば、彼は首を折るでしょう。あなたは下から始めてそれを上に立てていく必要があります。そしてここで私たちは神をわずかに疑ったことにより、約束の初めから神のプログラムが中断されている事が分かります。

それは罪がエデンの園で始まるのと同じ方法です。それが罪により死がもたらされたのと同様に、神の一言が誤解されたり疑われたりした時に起こるのです。あなたは、「主はそう仰せになる」という言葉を疑ったり神の一言を起き変えたりすることは出来ないのです。[不明瞭な言葉(編集者)]御言葉がそう言われたらそうなります。

25 ここでサラは誰にも約束を…女性であるサラは教会の種類となるのです、神の約束された御言葉の最初のプログラムに疑問を投げかけて言いました、「あなた、私の夫アブラハム。この美しいメイド、そして彼女と一緒に暮らし、そして彼女の夫になりなさい。そして神は彼女を通してこの約束の息子をお与えになるでしょう、そして私に子供を連れてきてください。」見てください、ほんの少しの迂回をするだけでプログラム全体が変わってしまったのです。それ故、私たちは神のすべての御言葉を「主がこう仰せになられる」と捉えなければなりません。神のすべての御言葉は真実です。

26 ここでその子孫となる種は約束が少し疑われる形で始まります。イサクは自由で約束された女性の子孫であり、パウロがここガラテヤ人の手紙で説明しようとしていたように、彼は自然に約束された子孫をもたらしました。そして、彼はここで言います。彼らは2つの異なるカテゴリーのものなので、女奴隷の子供たちは自由な女性の子供と共に相続することはできないのです。

それは事実です。その不信仰者は信仰者と共に相続する事は出来ません。全くそれは不可能です。

それが今日の問題となるところです。あなたは宗派の鶏をワシと一緒に信じさせることはできません。あなたにはただそれは不可能なのです。そこに問題が生じるのです。神のすべての御言葉を信じる必要があるのです。あなた方はただ…共に相続人となるわけではないのです両方に加わる事は無いのです。それはできません。あなた方はワシか鶏になるかどちらかしかないのです。

27 サラが神の御言葉を疑い、神がそれを守ることが出来ることを疑っていたので、女奴隷の子孫であるイシュマエルとの相続者になることはできませんでした。アブラハムに注目してください(日曜日のの為に私が何をしようとしているかが分かりますね)。アブラハムはそれを疑いませんでした。サラはそれを疑いました。彼女に問題があったのです。疑ったのはアダムではありませんでした。疑ったのはエバでした。それでは、日曜日の朝にそれについて触れるのでそれらについてもっと分かるようになるでしょう。

また、霊的なものも…肉的な物は霊的なものの相続人にはなれません。イシュマエルの子供たちがイサクの子供たちの相続人になること不可能なのです、肉的なものだけは霊的なものの相続人にはなれません。

肉的な教会、霊的な教会です。これらの女性たちがここで種別するのは肉的な教会と、霊的な教会もあります。ですから、肉的な教会と霊的な教会と一緒に相続人となる事は出来ないのです。彼らは2つの異なる別れた時なのです、2つの異なる別々の人々、2つの異なる別々の契約の下にいるからなんです。

28 そういうわけで、携挙は異なり、アブラハムへの忠実な子孫だけとなるでしょう。それは肉的な肉欲の教会は来られないのです。それはアブラハムへの忠実な子孫として神の御言葉への忠実な子孫でなければならないでしょう。「わたしたちは主の言葉によって言うが、生きながらえて主の来臨の時まで残るわたしたちが、眠った人々より先になることは、決してないであろう。すなわち、主ご自身が天使のかしらの声と神のラッパの鳴り響くうちに、合図の声で、天から下ってこられる。その時、キリストにあって死んだ人々が、まず最初によみがえり、それから生き残っているわたしたちが、彼らと共に雲に包まれて引き上げられ、空中で主に会い、こうして、いつも主と共にいるであろう。」(テサロニケ人への第一の手紙第4章15-17節 口語訳[翻訳者]) 注目してください「彼らは生きかえって、キリストと共に千年の間、支配した。」(黙示録第20章4節後半 口語訳[翻訳者])と記されています。

ですから携挙が先に来なければならないのです。

したがって、彼らは一緒に相続人になる事は無いのです。彼らは一緒に携挙されることはありません。肉教的な教会と霊的な教会は間違いなくあります。ある教会は肉欲的で、ある教会は霊的なのです。

あるのです分かりますね、…ここには

29 アブラハムの忠実で霊的な予め定められた子孫に対する裁きはありません。彼らは永遠の命を持つようにあらかじめ定められているのです。彼らは神が提供された犠牲そして、それがキリスト、すなわち御言葉であることを受け入れました。「**それゆえ、今や非難はありません**[ヨハネによる福音書第5章24節、もしその聖句が欲しければ] **従って、今や、キリスト・イエスに結ばれている者は、罪に定められることはありません**。[ローマ人への手紙第8章1節 口語訳]「…肉で歩くのではなく、御霊によって」そしてローマ人への手紙第5章24節、「**私の言葉を聞いて…**」そこにある言葉は「悟るならば」です。どんな酔っ払いでも、他の何でも、それを聞き逃げることが出来ますが「**わたしの言葉を聞いて、わたしをつかわされたかたを信じる者は、永遠の命を受け、またさばかれることがなく、死から命に移っているのである**。」(ヨハネによる福音書第5章24節 口語訳[翻訳者]) その通りです。その時代における人げの中で彼自身が表され、神が取られた偉大なる奥義が彼自身なのです。神が知らされたのです、だから悟りましょう。神は世との和解の為にキリストの内に現れたのです。彼と父が一つであることによってです、人間の汚れと人々の仲間の中で、神の御言葉はが知らされ、悟らせたのです。東に日が昇りまた西に日が沈むのと同様に、彼自身が花嫁の教会に現されるようにするために、御言葉を明白にされました。それは……「**彼には彼を理解するために(すなわち知るために)、私をつかわされたかたを信じる者は、永遠の命を受け、また裁かれることがなく、死から命に移っているのである**。」

30 肉的な子孫はただ霊的な物の運搬者にすぎませんでした、その種は、茎、房、そして殻がそうなります。このことは別のメッセージで説明してきましたが、少し復習したいので一あるいは又そこに戻りますので、ちよっとお待ちください。

さて、ここにその子孫の3つの段階があります、本当の絵、地球の中の自然な肉的な子孫(種)の3段階を示しています。種が植えられると、茎を育ち、そこから小さな葉が出て来て、次に房が、そして花粉がその上にぶら下がり、そして次に殻が出て来て、そして次に種子が再び創られるのです。

31 ここで、子の完璧な譬え話のこれらの段階と、それがどのようにして種別の中で正確に行われたのかを見てください。ですから、神が失敗できないように自然も失敗する事は無いのです、何故なら彼がその条件を我々が見て理解するために設定されたからです。

気がついて下さい、ハガルの種は、種子の湧き上がりの最初の始まりでした。さて、それは種のように見えませんでした。それは茎で、なぜなら彼女は女奴隷で全く約束の中に居らず、御言葉とは何の関係もなく、ただ種の運搬人にすぎなかったからです。

32 花粉を持っていた房、サラに注目してください。彼女はユダヤ人の国で育ちました、[不明瞭な言葉(編集者)]その彼女がイサクをもたらし、イサクがヤコブをもたらし、ヤコブが家長をもたらし、家長が国を持ってきたのです。

処女マリアの信仰が真の霊的な子孫(種)言葉により肉体を取って生まれたのです。わかりますか? 3人の女性、この子孫を運んだ3人の女性達。そのうちの一人は、実際一夫多妻制下の姦通でした。2人目は自由な女性、3人めは性的関係は全くありませんでしたが、信仰によって神の御言葉を信じていました。ハガル、サラ…サラもハガルも性交でしたが、マリアは契約された神の御言葉の力によって処女だったので。そのとおりです!

33 茎である、ハガル…2人の妻が約束を疑いましたが、それが何をもたらしたのかを見てみましょう。アブラハムの2番目の妻ハガルは、絶対的には妾である妻でした。しかし、彼女は息子を生まれました。彼はどんな男でしたか? 聖書は彼が野蛮人であったと告げています。彼は自分の弓によって生計を立てていたのです。彼を征服できる者はだれもいませんでした。彼は落ち着かず、信じる者にもなれず、新生も不可能でした。彼を落ち着かせることはできませんでした。

彼は野生人でした。なぜなら彼は神の御言葉に反していたからです。そして、それが約束に含まれていないからといって、神の御言葉に反する、説教者、信徒、教会など、それに反するものはすべて、きたなくされていない御言葉にとどまることができない世俗的なハリウッドの野蛮な異端者集団を生み出すでしょう。何

てこと!

34 約束の本物の妻、房であるサラは紳士を生みました。そして戻る事で、神に仕えた約束の国が生まれました。しかし、マリヤは性交をしていませんが、約束された御言葉を信じていました。彼女が男を知らず、処女であったとき、主の天使が彼女の所に来て言いました「恵まれた女マリアよ、おめでとう、主があなたと共におられます。」と

そして彼女は言いました、「これはどのような意味なのでしょうかと」

…「聖霊があなたに臨むであろう」と天使は言いました。

その様なことは今までいつの時代にも行われたことはありませんでしたが、マリヤは神を信じました。そして彼女は言いました、「私は主のはしためです」彼女はその御言葉を信じました。彼女はどのようにして彼女はそうなるのでしょうか??ハガルはアブラハムとの性行為によって赤ちゃんを産み、アブラハムは約束の子供達を女奴隷と自由な女性との性行為によって赤ちゃんを産みましたが、ここで彼女はアブラハムの不可能になると信じる信仰にたいする貢献を望まれていたのです。「神がそのように言われた限り、それは正しいのです!」

彼女は神を信じました。決して疑いませんでした、「見よ私は、主のはしためです。例え世界からいくら批判を受けたとしてもあなたの御言葉通りその実になるのです。」だからこそ本物の子孫が生まれるのです。

35 サラにはが出来ませんでした、なぜならそれは性交だったからです。そのとおり。それは性交だったので、サラにも不可能だったのです、教会の宗派主義のもとにあるとそれは不可能です。子供を生むことを契約するには、神の御言葉を信じている処女の信仰が必要だったのですその人に神が子供を産ませるしかなかったのです。宗派主義は生まれ変わった教会をもたらすことは決してないでしょう。それは不可能なのです。代用品を生み出すでしょう。それを模倣する何か、そのようになろうとする何かが出てくるでしょう。しかし、本物の新たに生まれ変わった神の教会は、それが何であろうとも、何にも関わらず神の御言葉を信じるのです。これらのことが起こるのは神の約束によるだけなのです。

36 その真実の物であるマリアは、性行為することなしに、「あなたのお言葉通り私の実になりますように、あなたのはしためですから」と言いました。そして彼女は産んだのです。何を生むことになったのですか?

野生人ではなく、国家ではありませんが、御言葉を生み出したのでした。神ご自身が肉を取って来られたのです。(アーメン!)、神が聖書の中でなされたすべての契約を表した真の種(子孫)。彼なしには、だれも生きることはできません。彼女は本物の子孫だったのです。彼女はそれを超えてました…彼女は穀物を生み出した殻だったのです。

さて、他の2つは肉的な子孫としての実の生命の運搬車にすぎませんでした。。マリヤ、、、さて…覚えておいてください、私は他の二人の事は言いました。

。。。さてマリア。。彼女を神にしないでください。ある人達はそうしようとしてきました。彼女は神ではありませんでした。いいえ違いました!彼女はただ他の人達と同様に、子孫を生み出す運搬人にすぎませんでした。

しかし、御言葉への信仰が、現実のイメージにもっと近づけてくれるのです。

37 トウモロコシまたは小麦と同様に。成熟するにつれて茎が出ます。それから花粉が出ます。それからそれは殻を与えます。しかし、あなたは思っています…あなたが見ていないのなら、それは巧妙で、まるで本物の小麦のように見えるでしょう。しかし、それが開かれるとき、本当の小麦は内側にあります。それはまたただの運搬人です。

それで、あなたは、性交を通してではなく、信仰を通して、まさにそれに似た何かを通して、マリヤを見ます…マリヤはその種ではありませんでした。マリヤは種の運搬人でした。神の御言葉がアブラハムに与えた信仰によるものなので、彼は真の信仰の種でした。そして、信仰だけが神の御言葉に対する信仰だけが神が彼がすると言われたことを生むことができます。

38 気が付いて下さい。マリアが本物により近いのですが、殻のようでした。

そのからはこの種自身に入っていてそれを保護します、そして自身で立ち上がれるようになるまで、栄

養を与え続けるのです。それで、ペンテコステ時代の

この第3の教会時代は成熟しましたそのからが開くまでこの穀物を持っていました。マリヤはキリストの母であり、ただの孵卵器です。彼はマリヤの血を持ってはいませんでした。彼はユダヤ人の血ではありませんでした。彼は異邦人の血ではありませんでした。彼は神の血でした。神はこの血を造られました。性交ではできませんでした。彼はユダヤ人でも異邦人でもありませんでした。

その赤ん坊には母親の血の性質は全くありませんでした。父からだけ来るのです。男性にだけヘモグロビンがあるのを知っています。鶏の様です。それは卵を産むことができます、雌の鶏は出来ませんが雌は雄鶏と一緒に居なければ孵化する事はあり得ません。それは本当に本物の肥沃な卵のように見えますが、それは不妊です。その性質はすべて同じに見えますが、その中に生命はありません。

39 それが、キリストを告白する人々のやり方です。彼らの多くはクリスチャンのように見え、クリスチャンのように行動しようとしますが、あなたがたの内側にキリストが住んでいなければならないのです、それは御言葉が現れる必要があるか、あるいは本当の聖書を信じるクリスチャンとして成熟する事は無いのです。それはいつも宗派的な物のようになるでしょう。それは生きられないのです。卵が孵化することはできません、それがオスの鳥と一緒になかったならば、それは巣の中で正しく腐敗します。

ちょうど教会員のように。あなたはかれらを世話して彼らと呼び一執事やその他のことをさせる事も出来ますが、彼らは一交尾していない限り、腐った卵でいっぱいの子孫を持つことになるのです。その通りです。

40 運搬人、殻、それが育てたのです。そのとおり。そしてそれが、自分で成熟することができるように太陽の下にその種をおくために、殻から離れなければならないか、殻が離れなければならない。すべて種類の中分かりますね。

さて、ここを見てください、この終わりの日の教会(女性)が、どれほど近くに子孫(種)自体の様に見えるのでしょうか？ペンテコステ派のこの宗派が終わりの時に打立てられましたもう少し後で説明しますね。それらがどのようにしてまさに種のように見えるようになっていくかを見ていきましょう。殻が小麦の粒から出てきて、あるいは小麦の葉から、一段の小片から小片が出てきて、2段階目で花粉が落下して、3段階目になった後、それが殻です、または本当にしっかりと観察していないならば、どちらが本物の小麦の穀物なのかを見分ける事は決して出来ないうでしょう。その最初の小さな穀物が出てくると、穀物のように見えます。しかし、座ってそれを開くと、穀物がまったくないことがわかります。それは単なる殻、穀物の運搬人なのです。さて、それから穀粒が出てきます。しかし、覚えておいてください、その殻はその後はありません。覚えておいてください、マリヤの後のどこにも女性を通して約束された子孫(種)はもうありません。そして、ペンテコステの後に約束された宗派はもうありません。それはそこから出てくる携挙する花嫁、その子孫、御言葉が再び成就させたのです。

41 注目してください、それがどれほど近くなっているのかを理解してください。マタイによる福音書第24章24節が、終わりの日の2つの霊、教会の人々の教会の霊と花嫁の人々と花嫁の霊は、近くなるならば、もしできれば、選民をもをだまそうとすると述べています。どれ程近いのでしょうか。

茎を通してどの様に来るか見てください。さて、ここであるものを種別していきます。ルターは教会時代で花嫁の種を育てることも霊的には同じでした。ほんの一粒の種(子孫)であるルターは際立っていました。それは信仰による正当化でした。彼は全くハガルの種別だったのです、茎でした。ウェズリーはサラであり、フィラデルフィア、愛の時代の種類であり、それが房を生み出しました。ウェズリーの時代には、他のどの時代よりも多くの宣教師がいました。ジョン・ウェズリーの時代は偉大な宣教師時代でした。

しかしペンテコステはマリヤを代表しました。マリヤ、その最後の段階です。さて、彼女は種ではなく、まだ種(子孫)の生命は彼女にありました。しかし、まだ成熟していませんでした。私はまさに敬虔さを感じています。まだ成熟していませんでした。それはそこにありました、しかしそれは成熟しきっていませんでした。だから私たちが生きている今のペンテコステ派時代と同じなのです。その宗派の領域の外で、神の御言葉が出てくる必要があるのです。

42 ルターは彼の最初の言葉、「正義は信仰によって生きる」で皮をむきました。ウェズリーには2つの言葉、聖別化、2番目の恵みの明確な働きがありました。ペンテコステには3番目の言葉、賜物の回復がありました。しかし子孫全体が出てくる必要があります。彼らがどのようにして1つの言葉、そしてもう一つの言葉、そして別の言葉によって分派して言っているかが分かりますね。しかし、何か分派する事が出来ないが者が

あるはずですが。それはそこにいる生命の全てが花嫁の中で再びそれ自身を生み出さなければならないということです。この後に他の教会の時代はあり得ません。我々が終わりなのです、兄弟姉妹。我々はここにおいて最後の時になっているのです。神に感謝します。アーメン！

43 それでも、彼女が房であるか、ウェズリーが房であるならば、ペンテコス

さて、ここで神がアブラハムに「あなたの種(子孫)」と約束されたことを思い出してください。私たちの誰もがそれを知っています。彼はイサクではなく、キリストのことを話していました。彼の信仰の種を通してなのです。それでも、彼女が房であるか、ウェズリーが房であるならば、ペンテコステは穀物の出現の次の段階であるで穀あることに気づくでしょう。

しかし兄弟、姉妹、茎は違います。房も穀物でもなく、穀もそうでもありません。成熟するたびに、穀物のように見えます。茎は穀物のように見えません。そして何が出てくるのでしょうか？房、小さな球根。それは葉よりも穀物のように見えます。次に何が出てきますか？穀です。それは穀物を保持します。それは穀物を育てます。

さて、ここで神がアブラハムに「あなたの種(子孫)」と約束されたことを思い出してください。私たちの誰もがそれを知っています。彼はイサクではなく、キリストのことを話していました。彼の信仰の種を通してなのです。

44 注目してください、最初のアブラハムの子孫は女奴隷に生まれました。約束とは全く違っている様に見えます。誰の為にも神はご自身の御言葉を取り戻す必要はないのです。神がどのようになるかと言い、そしてそう成るといのが神のやり方なのです。しかし、サラは教会の代表、教会の種別になっていたのです、そこで見出したのです。…彼女は言いました、「まあ、これはちょっと驚異的になりすぎるから私にはただそれを信じることさえできないので、あなたはハガルに行きなさい、そしてあなたは彼女を妻にしなさい。」と分かりますね？その茎はまったく約束のように見えませんでした、サラが現れたとき、今それはかなりよく見えました。それはそこでの約束にもっとずっと似ているように見えますが、それでもやはりそれは本物の約束ではありませんでした。(ハレルヤ！興奮しないで、走らないで。傷つくことはないでしょう。)その子孫を否定し、苦しみに合わせ、十字架につけました。

45 パウロがここで言ったように、「自由な女性の種ではなかった…女奴隷の子孫は自由な女性の子孫を迫害しませんでしたか？そして、宗派の子孫は本物の穀物を迫害します。それはいつもそのようになります。彼らは一緒に相続人になることはありません。彼らは一緒に関係する事は無いのです。彼らは2つの異なる約束、2つの異なる時代、2つの全く異なるものなのです。1人は花嫁、もう1人は教会です。お互い同士で全く比較にならないのです。

しかしそれでも、それらは来ることを約束された種ではありません。サラでもハガルでもありませんでした。サラでもマリヤでもありませんでした。マリヤは種ではありませんでした。彼女は運搬人でした。しかし子宮から持ち出された穀、本物の種のように育て、子宮から出てきました。しかしその穀は種ではありません。それは種に非常に近いです。種の周りにいて守っているのです。茎の奥に戻ると、生命は茎を通して散らばっています。そしてそれが花粉に来ると、それはより近くに集まったのです。しかし、それが穀に来ると、それは種のようにそのすぐ下にあり、そしてそれはほとんど種のようにそれを形作ります。イエス様は私たちが終わりの日にどのようになるかを我々に告げられたのです。近くなっているのです、もしできれば、選民をも欺こうとするというのです。しかしそれから種はそこから出てきます。そして、そのから、生命は穀を去ります。つまりその穀は運搬人ですから。そしてそれこそまさに私たちの宗派が行ってきたこと、つまり運搬人でした。ルター、ウェズリー、ペンテコステ派、そして今、種が前に出る時がやってきたのです。

注目してください、ただ注意して下さい…

46 彼女は種ではありませんでした、マリヤはそうではありませんでした。ただのから、房、そして茎で、御言葉のすべてではなく、御言葉の一部を担う運搬人だったのです。ルターには正当化がありました。ウェズリーは聖化しました。ペンテコステ派は賜物を取り戻しました。しかし、御言葉が来ると…彼らはそれを生み出すことができます。その正当化は人を救うでしょう。あなたはそれを信じますか？もちろんです。茎が小麦の一部であると私が信じるのと同じように、それは御言葉の運搬人です。もちろんそうだ！しかし、それは運搬人です。それは生命ではありません。それから聖別化が来ます。聖別化を信じる者は何人ですか。あなたはあなたがしなければならない聖書を信じます。もちろんです。それでもまだそうではありません…それはもう少し似ています…もう少し似ています…それはもう2つの言葉です。しかし、その後、五旬節、賜物の復元が来

ます。異言で言えば、彼らはそれを聖霊の最初の証拠と呼び、異言で話します。そこに彼らは初期の証拠は何をもたらしたかと呼ぶ？その房を。しかし彼らは命名しました。しかし、あなたが「私と私の父は一つである」と言うようになると、これらの他の事柄は、それから殻から引き離されます。しかし、本当の本物の花嫁の教会は、神の御言葉全体をその満ち溢れた中で現すでしょう[あいまいな言葉(編集者)]彼は昨日、今日、いつまでも変わる事がないからです。

注目してください、マリヤの子宮の中には種がありました。

47 しかし、種が届けられたとき。言いました、「わたしが父におり、父がわたしにおられることをあなたは信じていないのか。わたしがあなたがたに話している言葉は、自分から話しているのではない。父がわたしのうちにおられて、みわざをなさっているのである。」種がありました。「私たちのうちの誰が私を不信仰であると非難することができますか？聖書が私に約束したこと、私はそれをしました。神は私を通してそれを確証したのです！」彼は言いました。「だれが私に今言うことができるのか、その種…」しかしマリヤの中にある種…からそれは近いものでしたが、それではありませんでした。まだ子宮内にいました。

注目してください、又、ペンテコステ派の時代、ルター派の時代、ウェスリー派の時代を通して、それはこのペンテコステ派時代と同じものでした…さて、気付いて下さい、しかし七つの封印の開封において、黙示録第10章の冒頭で、完全な御言葉はそれが地上にいた時と同じように現れ、地球上にいた時と同じように現れ、神の霊によって最大限の力で示され、再び顕現されました。アーメン！ヘブル人への手紙第13章8節は、**イエス・キリストは昨日、今日、そしていつまでも変わることがない**(口語訳[翻訳者])と述べました。ルカによる福音書第17章30節に、イエスは言われました、「それはソドムの時代にあったように、**人の子が現れる日も、ちょうどそれと同様であろう。**」(太字のみ口語訳[翻訳者])

48 世界はソドムの状態にあり、教会はロトと彼の妻のように世と共にソドムに入りました。そして私は、この世のどこかに選ばれた教会があり、そこから引き出され、それらのものから離れていると言っています。そして、神の現れはそれの注目を集めました。私たちは終わりの日にいるのです。

殻は種に力を与えました。出て行くための力です。それは良い殻でしたが、それはその時間の分仕えていました。

分かりますね、それは御言葉の新郎の為の御言葉の花嫁です。アブラハム、イサク、そしてヤコブの自然の種、あるいはイシュマエルの自然の種、イサクの自然の種などは、このほかの物を引き出すため、イエスを引き出すために地面に行かなければなりません。そして、他のすべてもそうです。種は乾かなければなりません、つまり、殻は乾かなければなりません。花粉も乾かなければなりません。

それがあらゆる時代に見られるやり方なのです。

49 宗派はその一部が運搬人となってきました。その一部の御言葉が、賢明な改革者から隠されたか、またはワシの時代が現れるまで彼に対して封印されてきていたです。聖書がそう言っています。その通りなのです！マラキ書第4章にいと約束されているのが我々だからです。その通り、私たちなのです。彼は世的な賢い優秀な目からそれを隠しています！

そして、黙示録を読み終えたところで、3人のメッセンジャー、あるいは出てきた獣たちが、それぞれルターにぴったり合っていて、お互いにぴったり合っていたことがわかりました。それは牛と聖書の様々な動物です。それはペンテコステ派の中にさえ、正当化、聖化のために現れました。4番目はワシでした。そのとおり。そしてその時代を通して、神はそれを立ち上げてこられたのです。そのためには、正しい時代でなければなりません。そうです、マラキ書第4章で成し遂げられています。

イエス様はマリヤのものではありませんでしたが、殻を通した生命のように、マリヤを通して来られました。

50 さて、あなたたちの多くがここにいる素晴らしいカトリックの兄弟姉妹たちは、多分あなた方が言ったように、マリヤは神の母であったと思っているでしょう。どのようにして彼女が神の母になることができたのでしょうか、又、神には始まりも終わりもありませんでしたよね？わかりますか？もし彼女が母親だったら誰が神の父だったのでしょうか？わかりますね？彼は彼女の創造主でそして、彼女は彼の創造主ではありませんでした。彼は彼女自身の創造物ではなく、マリヤの子宮の中に彼自身が創造しました。つまり…彼が彼自身を創造したのです。彼は彼女のものではありませんでしたが、彼女は彼のものでした。そのとおり！聖書は、すべてのことが神によってなされたものであると教えています。何も神以外に創られたものはないと、全てが神に

よってなされたのです。それではどうすれば…彼が神ご自身であったとき、どのように彼に母親を持つことが出来るのでしょうか？

51 さて、ここで私達は本物の種別によるの本物の啓示が分かります。…イエスにあって成熟するまで、3人の女性が自然の子孫(種)の運搬車となりました。どうして イシュマエルにはできなかったのでしょうか、なぜなら彼は女奴隷の息子だったからです婚外で生まれたからです。それからもう少し主のように、イエスのような性質のイサクが出てきます。しかしまだ本物ではありませんでしたと言うのは、サラとアブラハムの間の性交から生まれたからです。しかしそれからマリヤは、処女生誕によってイエス・キリストを生み出しました。そうですね!御言葉の神が肉体を造られたのでした。

さて見てください、3人の女性がいました。ここに種別された3人の女性がいて、教会(女性はいつも教会の種別となっています)は、宗派の時代のように、種のための場所をあげるために、運搬者は死んで枯渇しなければなりません。種は正しいものになることができません。むしろ、茎、茎、および葉がすべて乾くまで、熟すことができません。そのとおり。それが命から全ての物を取って吸収するのです。アーメン!全てであったことはプラスなのです。

52 それは出来ません。

さて、種の時、または花嫁の時です。殻は死んでいます。殻は乾ききったのでした。処女の御言葉の時、触れられていない…それは処女です。覚えておいてください、処女の御言葉の時。あなたがそれを宗派の手に渡せば、それは確かに処女にはならないでしょう。それはあなたがそれに到達する時、それは人間の手により処理されるでしょう。しかし、神の教会は宗派に触れられていません(ハレルヤ!)。それは処女に生まれた神の御言葉としてイエス・キリストによってあらわされているのです、昨日も、今日もいつまでも変わる事がないのです。ハレルヤ!なんと素晴らしい!大好きです。信じています。それが真理だと私は知っています。それは触れられないでしょう。花嫁の処女生誕には宗派上の人間の扱いはありません。いいえ!彼女は神からその様に出てくるように命じられました「穢れたものに触れてはならない…。ハゲタカにならないように。」

53 ちょうど思い出しました。先日フェニックスから来て、会議からツーソンに来ていたとき、神の御霊は何か私に関心を引こうとしました(妻と私が話している間、子供たちは車の後ろで眠っていて遅くなってきていました)タカに私の関心を引いたのです。そして私はそのタカを少し見て研究しました。彼は今日の教会の種別そのものです。

今、タカは、私達全員が知っているように、初めに創られてた彼の認識を失いました。その通りです。一度は彼は驚、彼のより大きな兄弟に似ていました。しかし、今や彼は天空のマナを探すために空を飛ぶことはもうありません。しかし彼は穏やかになりました。彼はもう空を飛びません。彼はハゲタカのように地面を飛び回り、電柱の上に座り、死んだウサギの狩猟を見つけては飛び回ります。タカはそのような形で創造はされていませんでした。いいえ、彼はワシに似せて作られていました。天国に場所を持つはずなのです。しかしその代わりに、それは穏やかになりました。それは未知のものにもう向かってに飛びません辛くなることはしないのです。そうなのです!それは現代の養子縁組、教育、およびある宗派の神学によるのです。そのとおり! タカです。それが言うことが分かりますよね。ワシは少しも変わっていません。ワシで居続けるのです。

54 彼は空に急上昇しません、タカはもうそこに新鮮なマナを取る努力をすることはもうないのですしかし、すでに死んでいるものを見つけられるかによります。タカは地面で歩くような鳥として創られてはいませんが、年老いた今日のタカを見てください。道に沿って下りていくと、電話線が鷹でいっぱいになっているを見る事が出来ます、彼が何かを見つけられるかどうかを確かめて下さい-何か殺されていて、何か腐っている何かです。彼は飛ぶのに十分な翼を持っていません。あなたが知っている最初のことは、彼は完全に地面にいるということです。神が彼に与えられた力をもう彼は使おうとしません。

彼の特別な認識は空に飛び込み、下から見下ろすことでした。しかし今、彼は下に降りて、見上げることをできません。彼は死んだウサギに目を向けているのです、彼が道で何を、何匹かのスカンク、ポッサム、または誰かが踏んだ何か、を見つけることが出来る事だけを考えています。彼はワシではありませんが、彼はそれに似ているはずなのです。教会が教育用の食料などに頼っているのと同じように、何年も前にルター、ウェズリー、そしてペンテコステ派などを通して出された死んだ食べ物を通してその時代に死んでしまったからです。それは、信じることをすべてが可能である御言葉の天国に飛び上がるのではなく、いくつかの人工の信条によって後ろを振り返っているのです。

55 彼はハゲタカの習慣を身に付けました。死んだものはハゲワシ、世のために残されました。そのような教育などは教会のためではなく、世界のために残されました。彼はとても緩くなっているので彼は辛い事はもうしないのです。彼は信じているものすべてが可能である険しい天国に立ち上がって飛んでいくこともできないのです。彼は腰を下ろして言いました、「まあ、何某博士は確かに言いました…私の宗派はそうにそれを信じていません。」ああ、あなたは神の契約を打ち破ることを恐れてタカを倒しました。

「まあ、奇跡の時代は過ぎ去った」とあなたは言います。あなたはみじめです。あなたは自分の翼を持って飛ぶことを怖がっていて、そして祈りの集会は甘すぎるようになりました。あなたは祭壇に10分以上とどまることが怖い場所に行ったことがありますか？

56 ハゲタカが地面に死んでいる腐肉を食べるように飛び乗ってください。分かりました！

彼は取るには弱すぎて、もう険しい向こう側に行くことができません。彼はハゲタカのように見え始めるまで、ハゲタカのようにホップし、ハゲタカの食べ物を食べるのです(それが何であつてもその通りです!)。彼はハゲタカのように振る舞います、彼はもはやタカではありません。彼はタカよりもハゲタカのようにです。タカは航行するはずでありで、電柱の上に座って死んだウサギを探し、そしてそこに降りてハゲタカのように道を飛び降るものではないのです。わかりますか？

それはまさに教会が今日行っている方法です。「ウサギをここで得られるのに、そこにあがって航行する意味はありますか？」しかし彼らは死んでいます。彼らは腐っています。それらは汚染されています。前は彼らは良かった。ルター、ウェズリー、ペンテコステ派の教義もそうでした。なぜあなたはハゲタカのように食べるのですか？イスラエルの子供たちが旅をしていると、毎晩新しいマナが天から降りてきました。残ったものはすべて汚染されていました。私たちは田舎で「その中にミミズを入れた。」と言っていました。今日の私たちの経験には、あまりにも多くのミミズのような物があります。私たちの宗教は他の誰かが言ったこと、他の誰かが言ったこと、そして「約束は他の時代のためのものです」と言ったものによっているのです。

57 それほど前ではないのですが、私の家の向こう側にいるバプテスト派の説教者が上がって来て、「あなたは知っています。」と言いました。「ある事であなたに注意をしたいのです」

私は言いました、「何ですか？」

「あなたはこの時代に使徒的な教えを教えようとしています。」と言いました。「使徒時代は終わりました。」と述べました。

私は言った、「いつ？それが始まる時、お知らせしましょう、そしていつそれが終わったのか、教えてください」私は言った「あなたは御言葉を信じますか？」

彼は言いました、「はい信じます」。

私は言いました、「大丈夫。さて、ペンテコステの日に、あなたはそれが使徒時代に始まった時だとあなたは信じますか？」彼は言いました「はい信じます。」

私は言いました、「それではその話し手、使徒ペテロはこれらの言葉を言いました。…そして覚えていすね。イエス様は言われました「誰でもこの書に言葉を一つでも加えたり取り除いたりしたものの名は命の書から取り消される。」

私は言いました、「ペテロは言いました、『悔い改めなさい。そしてあなた方ひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなた方は聖霊の賜物を受けるであろう。この約束は、われらの主なる神の召しにあずかるすべての者、すなわちあなた方と、あなた方の子らと、遠くの者一同に、』それはいつ出ましたか。それはいつもそこにありますそれ以来。」それはハゲワシになった沢山のタカでいくつかの他の死体の上を跳びまわっていて、いくつかの他の時代が彼等を殺したのです(その通りです)天からの新鮮なマナはなくなってしまったのです。

彼らはそれを望んでいません。彼らは祈りの集会を開くことができません。最初からワシではなく、甘くなって、頑丈でなく、ただ跳び回るだけになったのです。

58 それゆえに私たちの現代の宗派は、これらすべてのことを説明するために、ある人工の神学への教育に依存しています。そして彼らはそれを受け入れています。彼らはイエス・キリストが昨日も今日もいつまでも変わる事がないと言った御言葉を受け取りません。彼はマラキ書第4章を受け取りはしないでしょう。そして

彼はこの日に関するこれらの他の約束をすべて取り入れることはしません、そして教会の時代はどうでしたか…どのように預言者が言ったか、「**夕暮れになっても光があるからである**」(ゼカリヤ書第14章7節 口語訳[翻訳者])と言いました。彼らはこれを信じません。彼らは100年前にペンテコステ派の体制が殺したものの周りを跳びまわりたいのですそして半分腐ったマナを食べたいと思っていますのです。その通り。それは良くないです。

59 注目してください、教会はとても肉欲的で、ハゲタカがするように、世俗的な腐肉、世の死んだものを自分自身を供給しています。教会政治。彼らは聖霊が人を教会に行かせないようにします。彼らは政治を持ち、宗派が彼を受け入れるかどうかを見なければなりません。その通りです。彼らは世が好きです。彼らは世と同じような服を着ます。彼らは世と変わらない様に見えます。彼らは世と同じように振舞います。彼らは世と同様のハゲタカです。彼らは怠惰で、甘く、妥協しています。それだけの事なのです。あなたはワシが妥協するのを見たことがありますか?ないですね!彼には妥協はありません。本物のクリスチャンも妥協はしません。彼は甘っちょろくないのです。彼はそれが見つかるまで狩りをするでしょう。アーメン!その通りです!彼は自分で肉を見つけるでしょう。彼は新鮮なマナを望んでいます。彼はそこに降りて、それが見つかるまで掘るでしょう。彼はどんどん高く飛びます。それがこの谷にないならば、彼はもう少し高く上がっていくでしょう。上に行くほど、分かるのです。ですから、この時代のワシは、何年も前に殺されたハゲタカの食物で生き続けるのではなく、より高く飛び神の約束に深く入っていくのです。そこからそれを見出すのです。

60 政治、投票する、開票する、これを言うこと、それ以外のこと。そして、聖霊は教会に対してこれ以上何も入れる方向性がないのです。これ以上祈りの集会はなくなり、神の御言葉を成就するために神に苦しむこともなくなりました。御言葉が昨日も今日もいつまでも変わる事がないをこれ以上信じることもありません。彼らはただ身をかかめて、宗派を得て、本に自分の名前を付け、怠惰で甘っちょろくなり、そしてそこに座り、ある種の死んだ状態を知りながらのけ反っているのです。そしてそれは少なくとも、ワシに似た兄弟のような鷹であると考えられていました。その預言者はその真実の御言葉を齎し成就したのです。

半分腐った、人造の神学に頼るとは。彼はどこでそれを手に入れますか?ある日曜学校のプログラムシートの中で、あるセミナーの中である教育者が彼のために殺害したそうですこういったからです、「奇跡の時代は過ぎ去った。あなた方は、ワシがそれを食べるであろうと私に言うつもりですか?聖霊のバプテスマのようなナンセンスなことはありませんでした。彼はそれが出来ませんでした。いいえ!クリスチャンもまた、古い宗派の教義や物事からその死者の食物を食べたりはしません。新鮮な神の御言葉を、その時代の為の約束が欲しいのです。

神はルターの時代にウサギを約束しました。彼は他人の時代に他のことを約束しました。しかし、今は私たちに全7つの封印を開いて、それを受け取ることが出来る人たちのために、すべての神の御言葉の準備が出来ているので、私たちに完全な正方形の食事、フルコースの7つのメニューを約束しました。ああ、なんということでしょう!

61 タカはハゲタカのように跳び回っています。ああ、なんということ!考えてみてください、その時代がどれだけ重要か。それは、タカがタカとしての身分を失ってしまったのと同じように、教会はタカの小さい鳥の兄弟、神の預言者としての彼女の身分を長い間失ってきました。真の御言葉の運搬人、正当化、そしてそれは聖化の運搬人となり、そしてそれは聖霊のバプテスマ、賜物の回復の運搬人に成りました。しかし、それが続いて戻って生き続けるとき、何か食べようと試みます。別の時代からのマナ、それは腐っています。もうだめになっています。この時代の本物のワシはそれが大丈夫であることを知っていますが、私たちはイエス・キリストが、彼がこの終わりの日にいると約束されたように彼の力の完全さにおいて明白にされるまでそれを加えて得たのです。

62 彼女は今や乾いた殻なのです。それは過去になってしまいました。神の御霊が彼女を過ぎ去りました。それは事実です。そして…彼女は証明された種(子孫)の御言葉による相続人にはならないのです。彼女は間違いなくなれないでしょう。彼女は携挙する事は無いでしょう。彼女は教会員になるでしょう、2度目の復活に出てくるかもしれませんが、彼女が聞いたことに従って裁かれます。あなたが今夜ここにおいて、ただの教会員であるならば、私たち全員がそこに立ち、あなたが真理を聞いたことを証しされる時、あなたの裁きはどのようなのでしょうか?わかりますか?

神の永遠なる御言葉の約束の力と高さが信じるすべてのことを可能にしたところに、彼女はもはや分からない、未知の、超自然的な場所に飛ぶことはありません。彼女はそれを信じないでしょう。彼女は言います…彼女は電話線に頼り、「私の宗派はウサギで大丈夫だと言っている」と言います。彼らは彼らの中にウジがありましたが、それでも彼らは大丈夫だということです。わかりますか?彼女はそれに頼るのです。

ペンテコステ派は、彼女の世俗的な政治的な頭を聞いて、50年前に死んだ何かの死んだウサギのハゲタカの食物を彼女に与えながら、不信心な(間違いなく!)大きな議会席に座っている彼女の宗派のハゲタカ姉妹のようです。それがペンテコステ派教会の状態です。ああ、なんということでしょう!

63 サラに厳選されたハガルによって、超自然の契約を持ち込もうとしたように、今日国中で私たちの偉大な伝道者たちが国を超えてリバイバルをもたらそうと試みています、「我々の時代のリバイバル、我々の時代のリバイバル。あなた方メソジスト、バプテスト、ペンテコステ派のみんなが一緒に集まります。」古い死んだハゲタカに、どうして新鮮なマナでのリバイバルが起こせるのでしょうか?どうやって出来ますか?「我々の時代のリバイバル」リバイバルは非常に小さいでしょう、彼らはそれが起こったことを決して知りませんでした。

ペンテコステ派は、「ああ、素晴らしいことが起こるでしょう。」と言いました。それは起こっています、そして彼らはそれを知りません。それでおしまい。わかりますか?そうですね!「死体があるところに、ワシは集まると。それは書かれています。死体とは何ですか。彼の御言葉。死体、キリストです。あなたの内のキリスト、昨日も今日も、そしていつまでも変わる事がない。

なんという真実でしょう。

64 今日の教会のように、大いなる我々のリバイバルの中で、すべての約束を成し遂げようとしています。(あなたはわかりますか?) 何によってでしょうか?倒錯した約束で。神が決して組織を祝福しなかったとき、あなた方はどの様にそれをするつもりなのですか?彼は決して組織を使ったことはありませんでした。メッセージが出てきて彼らが組織化されたとき、それはすぐそこで死にました。私は歴史家にそれが再び立ち上がった場所を教えてくださいと挑戦しました。それはすぐそこで死に、そしてそこに留まりました。神はただその運搬人から別の運搬人へ、ルター派からメソジストへ、そしてメソジストからペンテコステ派へ動かされたのです。

さて彼はペンテコステ派から種(子孫)へと移ったのです。何故ならそれが種でなければならぬからです。あなたは自然に勝つことはできません。それが起こるためには種が何も無いのです、つまり、種がそれ自身を作り出すからです。彼は昨日も今日もいつまでも変わる事がない同じ火の柱であり、同じ印、同じ力、同じ神、同じ奇跡、同じことを表しています。まさにその御言葉と聖書を示して、彼は昨日も今日もそしていつまでも変わる事はありません。彼は今夜また導いています。神は私たちがそれを理解して信じるのを助けています。もちろんです。

65 ほら、サラが厳選したハガルは教会?。うまくいきましたか?いいえうまくは行きませんでした!彼女の厳選した集まりも今日では機能しません。医者、博士、そしてLL.Dはそれをすることはありません。すべての運送人は失敗しました。ルターはそれに失敗しました。ハガルはやりました。ハガルは何をしましたか?ハガルは自分の息子をもう一人の女性の胸に渡して子供を育てさせました(その通りですか?)ハガルはそれをして、自分の息子である唯一の息子を、母親ではなく他の女性の胸に渡しました。それは、ルターが息子を正当化するために馬鹿にするための宗派に与えたのと同じことです。

66 サラが榎の木でそうしたようにウェズリーは同じように失敗し、超自然的な誕生や聖霊のバプテスマをうたがいました。ウェズリーが超自然的な事を紹介されたとき、ペンテコステ派時代が到来し、ウェズリーが異言で話すことに紹介されたとき、これらすべてが笑ってそれを馬鹿にしていました。みなさん、キリストの教会などの方々、そしてあなたは、いわゆるあなた方バプテスト派、そして長老派、あなた方1人1人があなたの鼻をそれに向けて、それから離れていったそうです。そうです!ウェズリーはどうしました?あなたは子供を組織に売りました、そしてそれは死に、そして腐敗しました。その通りです。

しかし、真の御言葉、御言葉はすぐに続きました。それはその組織にとどまりませんでした。それはペンテコステに移り、それをもっと増えていきました。子宮の中に落ちた種のように、より成熟した息子でした。そしてそれがバックボーンで始まった後、それからそれは肺を持ち、そして頭と足を持ち、そしてそれが生まれた場所に来ました。そのとおり!それで教会は同じように成熟しました。

67 ウェズリーはサラが榎の木で行ったのと全く同じように疑いました。彼女は言いました、「主の天使、天使のように身を包んだ男…。神、彼自身、エロヒムは、人のように身を包んでおり彼の服の上のほこりを置いて行ったのです。注いで言いました。彼は約束を置いて行ったのです。サラは90歳、アブラハムは100歳のときでした。そしてサラは袖口を上げて笑って言いました、「アブラハムと私が20年もの間、若い人たちでもなく、家族関係もなかったのに、どうしてこんなことができるのでしょうか。」彼女は100歳近くになっていました。「私は私の主と喜びを持っているそして私は年をとり、そして彼も年をとっているのですが年寄過ぎでは

ないですか？そして彼の生命の流れは死に、そして私の子宮は乾いています。私の胸はなくなり。乳道は消えています、どうすればよろしいでしょうか？」

しかし、神は言われました、「私はそれを約束する。とにかく彼はやってくる。」

ウェズリーもそうでした。「どのようにして彼らが異言で話すこと、神の癒し、のような物を受け入れることができるのでしょうか？それはこの時代の私たちのための物ではありません。」

68 神は、「終わりの日に、私は自分の霊をすべての肉に注ぐことを約束する」と言われました。彼はそれをすると約束し、そしてとにかくそれを続け、そして、そのすべての小さな花粉の姉妹の、バプテスト派、長老派、そしてキリストの教会、そしてナザレ派、ピルグリム・ホリーネス、そしてユナイテッド・ブレスレンなど何でもそれ共にすぐにしにその教会は動いたのです。さて、ペンテコステ派は何をしましたか？ちょうどそれを殻のように組織化しました。それと同じ事を行いました。それは自分自身を組織化し、自分自身を混乱させました。殻としてそれ自身を設置したのです。その通りです。

69 ペンテコステはマリヤのようでした。ペンテコステの祭り、マリヤがしたことを見てください。マリヤは何を間違えましたか？ペンテコステの饗宴で、彼女が息子を探して、どこにも見つけることができなかつたときに、彼女は沢山の高官、祭司に直面しました。そして彼女は3日間で家に戻りました。彼女は今日の現代の教会のように彼から離れてしまったのです。約3倍、5倍、または25倍ははその教会を離れました、約50年前の教会、または75年前のことです。

ペンテコステの饗宴に彼を残しましょう。マリヤはヨセフと一緒に3日間にわたって彼を探しました。彼女は彼を探していました、彼を見つけてはできませんでした。彼女は彼を見つけました。彼女は何かを見つけましたか？彼女は神殿で神の御言葉を祭司たちと話し合っているのを見つけました。そしてそれらの聖職者たちの前で、威厳のある彼らのカーテンを落としました。彼女決してすべきでない事を行いました。彼女の神、神の母と呼んでください。母親は息子よりも多くの知恵を持っているのです。そして彼女は言いました、「あなたの父と私は昼夜を問わずあなたを涙を流してさがしていました。」あなたの父と私は、誕生が超自然的ではない事を主超したのです、ヨセフがイエスの父であったと言っています。彼女は超自然的な誕生を否定しました。ペンテコステは異言で話すことを取りました。彼らは御言葉の誕生を否定しました。それはまさにそれがしたことです。彼らはそれをそれほど取りますが、それ以外の残りの物は取りません。マリヤがしたように、それが御言葉の誕生の否定だったのです。

しかし、注目してください。これ以降、組織は存在しなくなります。

70 注目してください！御言葉それ自身、12歳で、殻の中に戻った小さなもの、彼は言いました、「私は私の父のについて出なければならぬのか、わかりませんか？」。御言葉はすぐそこに教会を修正しました。

「あなたはこれらすべての事を何のためにやっているのですか？あなたはこれが出来ないことを知っています。私たちは私たちのドアを閉めます。私たちはあなたを入れさせません。」

「私の父の御業についてでなければならぬことを知っているのではないのでしょうか？」もちろん、本当の超自然的なものです。

現実離れした…彼女はただ彼をヨセフの息子、単なる人であると主張したのです。あるいは、ペンテコステがしたことは、彼をただ3人のうちの1人であると主張したことです。うーん、私はその怪我を知っています！3つのうちの1つ？しかし、彼は3人とも1人でいた。しかし、ペンテコステ派は、「ああ、そうです、彼は聖霊の御父の御子なんです…」ああ、なんということでしょう！しかし、本物の真実なる御言葉は間違いなく語っています、そこには彼らは3人ではないのだと彼らの内の一人ではないと。あなたは神の御言葉を知らないのですか？3人の彼らではなく1人としてください。

71 注意して欲しいのは、もう運搬人はいないのです。母教会、宗派はもうこれ以降はないのです。そのから行こうはいないからなんです。穀物以外何も残っていないからです。その通りですか？ その穀物となるのです。それは、地上に出たのと同じ種類のものでなければなりません、イエス・キリストは昨日も今日もいつまでも変わる事がないのです。。

彼がしたのと同じことをするために霊が花嫁にやって来ます。分かりますね、それはまたその穀物の再生なのです。

御言葉は、若い時から「どうしてお捜しになったのですか。わたしが自分の父の家にいるはずのことを、

「ご存じなかったのですか」と語っていたのです。

今メッセージには奥義があります。まさにその通りです。天の父の御業です。天の父の御業とは何ですか？天の父の御業が彼にとって何だったのを考える事が出来ますか？イザヤが言ったことが成就されるには、「おとめがみごもって男の子を産む」、イザヤが言ったことがもう一度成就しました、「その時、見えない人の目は開かれ、聞えない人の耳は聞えるようになる」、そしてこれらすべてのことが起こるのです。モーセが言ったように、「あなたの神、主は、私に似た預言者をあなた方の内からおたてになる。」その御言葉を成就するのは天の父の御業なのです。さて、それが彼らの自然な女性の茎を通して降りてきたら、これらの霊的な教会の女性のこれらの茎についてはどうでしょうか？教会は女性を意味します。女性がむしろ教会を意味します。その通りですか？さてそれは何なのですか？「私たちは御父の御業についてでなければなりません！」小麦は穀物を泣き返すでしょう。その通りですね！さて何をしなければなりませんか？マラキ書第4章、ルカによる福音書第17章30節、ヘブル人への手紙第13章8節、ヨハネによる福音書第14章12節を証します。そしてすべての主の御言葉を証明しているのです。ヘブル人を証明しているのです…7つの封印の開封と神の奥義、さらには蛇の種までを黙示録第10章で表します。結婚と離婚、そしてこれらすべての柱の下に隠されているこれらすべての他の謎、神学者たちからすべてのこれらの年など、それは今の時間です。それが御父の御業です。彼らはそれを受け取るだろうと思いませんか？彼らは威厳を持ち、「私たちの宗派は私たちにそれを教えてくれません」と言いたいのです。しかし聖書はそうしています。そのとおり！

72 神はそれが真実であることを証明しています。もちろんそうです。

7つの封印がちょうど宗派がまさに運搬人であったことを成就した事を証明しています。それは天の父の御業の他の1つです。証明するために…そしてその御父の御業は彼らに宗派が彼の物ではないことをあなたに示すことなのです。彼らは御言葉を否定する人口の体制なのです。その通りです。

注目してください！あなたは、「なぜ、マリヤ、偉大な処女なのか…？」と言います。十字架で、彼は彼女を「母親」と呼ぶことは決してなく、彼は彼女を「女」と呼びました。母ではなく運搬者でした。確かに、彼女は御言葉の運搬人だったのですが、御言葉ではありませんでした。彼が御言葉でした。オーその通り！

注目してください、また、彼女が彼との復活の中で識別されなかったことにも注意してください。彼は御言葉であったからでした。彼は死んで蘇られました。彼女は死に、まだ墓の中にいます。そのとおり！ですから、彼女はただの運搬者でした。神の母親ではなく、神ではありませんでした。彼女は教会のようにただの運搬者でした。そのとおり。彼女はただの運搬者であり、御言葉ではなかったことを示しています。

73 これを言って閉じましょう。ああ、ペンテコステ派の鷹達よ。ハゲタカのように跳び回り、他の国々がそうであるように世界に参加し、(可能であれば選民をも欺くのに十分な)終わりの時にこの様な敬虔さの形をもちながら、その力を否定するという、ここで預言者が言っている通りです。神の言葉の完璧な例となのです。ラオデキア教会時代、あなた方は自分は飛んでいる、豊かになった何の不自由もないと言っているが、実は、あなた自身がみじめな物、憐れむべきもの、貧しい物、目の見えないもの、裸なものであることに気が付いていない。、そして神の御言葉をまっすぐに保つために、彼女はタカから似た兄弟から預言者へ変わったことを知らないのです。彼女はハゲタカに向きを変え、そして死んだ教会のウサギの餌で彼女達の人々を養っているのです。その通りなのです。目を覚ませ！なんてと言う事…、この偉大な時で、携挙が近づいているこの素晴らしい時に、どのようにしてワシと同一視される、相続人となることが期待できるのですか？

74 ああ、クリスチャン、ああ、信仰者、あなたが部分的な信者であったのなら、ほんの少しの間も集会に出席し続けてくださいね？私たちはここで何かを手に入れました。遅いのです。私はこれ以上先に行くことは出来ません。閉めなければならないのです。また多分明日の夜終わるかもしれません。でもちよつと頭を下げて祈りましょう。

私が使っている文法に気付かれたいくないのですが、私が言ったことにちよつと注意して欲しいのです。それを理解することができるように分かると思います。間違いなく、もし望むならそうなります。今夜ここにおいて、あなたがこの経験をしていないのなら…私は言いません…言ってください、「霊の中で踊った、飛び回ったのです。」はい鷹はカラスやハゲタカと同じようなことをします。私はそれを求めていません。何を食べているの？毎日の食事はどこで食べられますか？あなたはどこに給餌していますか？何年も前にさかのぼって使われてきた神の御言葉か、それとも古くからの腐肉か。あなたの経験は何年も前にあなたが拾った何かで、今夜でもなく、それはまさに今夜天から降ったばかりで、新鮮で新しいマナで、あなたはその上にあなたの魂を供給していて、明日より良い、より良いものを探していますか？あなたがそのようにしていないならば、今頭を下げて、そして目を閉じて、そしてあなたの心を下げて、この誠実な質問をしてください。そして私ではなく

神に、あなたはこれを言う証言であなたの手を挙げますか？「神よ、私の霊と魂を、私が神の御言葉のみを糧にすることが出来るように調べてください。」あなたはただあなただけの手を挙げますか？神の祝福がありますように！神のお恵みがありますように！

今夜ここに何人いるのか正確にはわかりません。私は群衆の非常に貧弱な裁判官です。しかし、私は彼らが条件付きの魂を欲していると、少なくとも3分の1以上が彼らの手を挙げたと言いたいです。頭を下げて今すぐ祈りをおぼえておきましょう。

75 親愛なる神よ、御言葉を言う責任があるだけです。そして、これらの小さな単純なたとえ話、小さな種別によって、人々は一方が他方と相続することはないだろうと思います。そして、終わりの日には天国に導き行かれる人々がいることを知っています。そして、彼らのうちの何人かはイエス様が来るときにここにいるでしょう。そして今夜も彼が来ることを願っています。

そして私は約30、または約33年前に、夜の9時30分、または10時30分に、ここにひざまずいて、失われていた父親の為に祈っていたことを考えています。

今夜、主よ、私は多くの父親、多くの母親、兄弟、そして姉妹のために祈っています。神よ、憐れみを垂れてくださいませんか？父がそれについて何かをするのは今や遅すぎます。彼はこの生命の境界を越えて通過しました。そしてまもなく、私たち全員がそれを通過することになります。私もその方向にしなければなりません。ここにいる全ての男性女性、少年少女もその道に行かなければなりません。そして、我々は神の御言葉と共に何をするかについて責任があるのです。

76 どれ程、ダビデの光景の中に彼が唾を吐きだした時その人が小さく見えたのでしょうか。それがイエス様の御言葉を吐いているとお乗っているイエス様が再び戻られたときどれ程小さな斧となるでしょう。人々がここから歩き去って、ギリシャ語の偉大な言葉でさえなく、創造主である神の単純な世界でも小さく感じるのでしょうか。人々はここから離れて誰もが見ることが出来ると感じることはほとんどないでしょう。御言葉そのものの運搬車が分かりますそして私たちが生きている時を知っていて、収穫の時は今なのです。親愛なる神よ、私たちがこの世の愚か者に戻っていくことがないようにしてください。今夜、全員が彼を受け入れましょう。

そして主よ、私の中にあなたの聖なる霊をおつくりください、命の霊で全てのあなたの言葉を信じ、御言葉であるイエス様を受け入れますように、つまり昨日も今日もいつまでも変わることない方でこの時代に創られたその部分を信じられますように。受け入れてください、主よ、イエスの名前でお祈りします。

77 そして今、ここにおられる皆さん一人一人にこのことを真剣に本気で考える様をお願いします。我々には加わっていただく教会はありません。そこに洗礼を受けるためのプールがあります。「信じる者は皆バプテスマを受けました。」クリスチャンのバプテスマによって、まだバプテスマを受けたことがないのであれば…。それは滴礼ではなく浸礼を意味します。父と子と聖霊の称号ではなく、イエス・キリストの御名によって、303年にカトリック教会が三位一体の称号で3つの神と3つの形式のバプテスマを導入するまで、教会全体が主イエスキリストの聖名によって洗礼を受けていました。明日の朝10時にまだ受けたことがないのであれば、ローブと他の物がそこであなたをお待ちしています。

あなたは私たちに加わるのではなくイエス・キリストの所に来て加わりませんか？

お世話をすることが出来る教会はここにはありません。どこでも行きたい協会に行ってください、ご自身がおられるところのそばです。しかし、どうかこの言葉を信じてください。信じて、「アーメン！」と言ってください。神の祝福がありますように！あなたがそうされますように...

私たちがあなたを助けることができる何かがあるなら、私たちはそのためにここにいるのです。

78 さて、私はここに病人がいるのは分っています。今夜はプレイヤーラインのために私たちから離れています。たぶん私たちは行くこととなります。あなた方1人1人が私のために何かをしてほしい。近くに座っている誰かにあなたの手を置いてください。驚に手をかけているのは疑いのない事です。ある驚はどこかでいくらかのハゲタカの食べ物を食べて病気になったのでしょうか。もう運算利しています。そこから出たいのです。病気になって疲れ果てています。今晚ここに座って、わたたちが本島に何を食べるかを見て理解してください、御言葉です。そして生きたキリストが彼らの中に住んでいるのです彼自身が生きておられるのを見せて下さい、彼は昨日も今日もいつまでも変わる事はありません。彼らは殻と一緒に相続人にはなりたくないのです。彼らは焼かれるのです。全てのわらや物は焼かれるのです。その組み合わせが小麦を外に打ち出すのです。彼らは小麦になりたいのです。

肉体的に病気になる人も精神的に病気になる人もいます。驚の為に祈ってほしいのです、兄弟姉妹、そこにいる驚の為に祈ってください、ここにいるあなた方の為に私が祈ります。神の霊があなたに下る事でしょう。

覚えておいてください、私は驚の食べ物を神の約束を皆さんに分け合っています。彼は彼の預言者達を驚と呼びます。彼ご自身を驚と呼ばれます。彼はエホバ・ワシです。あなたは手を人に置いている間、その相手の為に祈ってください。

79 天のお父様、あなたの御言葉は言いました、「あなたがあなたの教会にあなたがたに与える最後の任務は、「全世界に出て行ってすべての者に福音を宣べ伝えよ

[一般的な命令]。信じてバプテスマを受ける者は救われるしかし不信仰な者は罪に定められる。信じる者にはこのような印が伴う、私の名で悪霊を追い出し、新しい言葉を語り、蛇をつかむであろう。又毒を飲んでも決して街を受けない。病院に手を置けば癒される。」(マルコ16:15-18)

ああエホバ・ワシよ、今夜あなたの幼い子供たちにその御言葉を与えて下さい。

主よ、彼らには必要があります。それが彼らの必要な食べ物なのです。それこそが必要なのです。「主が仰せられる」と言う事である食物が何かを知るためなのです。

彼らはお互いに手を置いた場合、彼らが回復すると約束しました。主なる神よ、今、私たちからすべての疑問とハゲタカの考えを取り除いてください。そして、私たちは神の御言葉である驚の食べ物を厳粛な思いで食べるのです。

これらの人々の中にあるすべての不潔な魂、すべての疑いの霊、全ての恐れ

の霊、全ての宗派にしがみついた霊、すべての習慣、すべての病気、人々の間にあるすべての病気をイエスキリストの御名によってこのグループの人々から去らせてください。そして、彼らは私たちが信じているワシの食べものを食べることができるので、この時代から自由になれるでしょう。主よ、それらの封印を開けて、私たちに創造以来隠されてきたこと奥義を見せて下さい。彼らはあなたのもので、父よ。イエス・キリストの御名において。アーメン。

80 信じて受け入れる者はみな、あなたがたの足元に立ち、「私は信じます。神が私に約束したことを受け入れます。」と言ってください。主はあなたを祝福します。それは素晴らしいです。すべての人が立っています。それは良い! Aコードで私は彼を愛しているをそれでは、この賛美歌を彼に歌いましょう。

私は彼を愛し、私は彼を愛します、なぜなら彼は最初に私を愛したからです。

今一緒に

私は彼を愛している(もしそうなら、私たちの手を挙げよう!)

彼が初めに愛してくださったから

カルバリーの木の上で

私の贖いを支払われたのです。

ああ、彼は素晴らしいですか? 握手しましょう。驚兄弟、反対側を向いて

仕舞い歌いながら手を振る。

私は彼を愛している

[会衆は互いに挨拶する]

カルバリーの木の上に

もう一度手を挙げてみましょう。

私は彼を愛し、私は彼を愛します

なぜなら、彼は最初に私を愛したからです

(そして彼は私たちをワシにします!)

そしてカルバリーの木で私の贖いの為に

支払ったのです。

(太文字讃美歌詞 [翻訳者])

81 どの様にして知るのでしょうか、世があなたがイエス様を愛しているのが分かるのでしょうか? 私たちが互いに愛し合うとき。それは世がどのようにしているかを知るのです。神があなたの信仰を理解して世界はあなたの行動を見るのです。互いに愛し合いなさい。今、お互いに親切にいなさい。互いに話し合ってください。互いに忍耐を持ちましょう。そして、私たちが与えることができるどんなさらなる指示、バプテスマ、聖霊を求めることができるので、ここにはそれをする部屋がありません。分かりますね。祭壇への呼び出し、神があなたを導いているのならば、これは正しい事です。イエスキリストは昨日も今日もいつまでも変わる事はありません。そしてあなたは彼に加わりたいたいです、彼の聖名によって明日来て洗礼を受けましょう。そこに男性達が居て指示をくれるでしょう。どんなことでもあなたを助けられることは何でもします。

82 彼を愛している、

私は彼を愛している(あなたは今電話で、ツーソン、カリフォルニアの上、東へ上がって東の方にいます。手を挙げてください。

(はっきりしない事が)主を誉めよ!)

な言葉で賛美歌で手を上げて)

私の贖いをカルバリーの木の上で支払ってくれた。

さて、明日の夜まで、ネヴィル兄弟私たちの牧師に捧げます

(太文字讃美歌詞 [翻訳者])



www.messagehub.info

伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランナム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7